③ 防水改修工事

7 合成高分子系ルーフィングシート防水

[3.5.2] [表3.5.1、2]

防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用 ◎	備考
・ＰＯＳ ・Ｓ４Ｓ	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3	図示		・カラーシルバー	・ ・ ・ ・ ・	脱気装置 ・設ける　・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・Ｓ３Ｓ	・S-F1 ・S-F2			・カラーシルバー	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない
・Ｍ４Ｓ	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・カラーシルバー	・	脱気装置 ・設ける ・設けない
・ＰＯＳＩ ・Ｓ３ＳＩ ・Ｓ４ＳＩ ・Ｍ４ＳＩ	・SI-F1 ・SI-F2		（材質） ・JIS A 9511による A種ポリスチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの ・ （厚さ）・25mm	・カラーシルバー	・ ・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・SI-M1 ・SI-M2		（材質） ・JIS A 9511による A種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板2種1号又は2号で透湿抵抗を除く規定に適合するもの又は A種押出し法ポリスチレンフォーム保温材の保温板 ・ （厚さ）・25mm・		・ ・	

ルーフィングシートの種類及び厚さ　・改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.2による　・

絶縁用シートの材質　・発泡ポリエチレンシート　・

脱気装置の種類及び設置数量　・ルーフィングシート製造所の指定による　・

既存防水下地がPCコンクリート部材の場合の処理

目地処理　・行う（工法　　）

・行わない

入隅部の増張り　・行う（S-F1、S1-F1の場合）

・行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・適用する（建築基準法に基づき定める風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対した工法）

・適用しない

⑧ 塗膜防水

[3.6.2]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考
◎Ｓ３Ｘ	・X-1 ◎X-2 ・	図示	・カラーシルバー	・	脱気装置　・設ける　・設けない 改修用ドレン　・設ける　◎設けない ◎専用目皿取替え　・設けない
・Ｌ４Ｘ	・X-1 ・X-2 ・		・カラーシルバー	・	脱気装置　・設ける　・設けない
・Ｐ１Ｙ	・Y-2 ・			・	保護層　・設ける　・設けない
・Ｐ２Ｙ	・Y-2 ・			・	保護層　・設ける　・設けない

脱気装置の種類及び設置数量　・主材料製造所の指定による　・

⑨ シーリング

[3.7.2、8]

シーリング改修工法の種類

・シーリング充填工法

◎シーリング再充填工法

・拡幅シーリング再充填工法

・ブリッジ工法

ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない

エッジング材張り　・適用する　・適用しない　・

シーリング材の種類、施工箇所

下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
◎サッシガラス廻り	◎変成シリコン（SR-1）　ノンブリード
◎外壁サッシ廻り	◎変成シリコン（MS-2）　ノンブリード

シーリング材の目地寸法　◎改修標準仕様書3.7.3（a）(1)～(3)による　・

⑩ とい

[3.8.2、3]

といの材種　・配管用鋼管　◎硬質ポリ塩化ビニル管

ルーフドレン

種別	施工箇所
・ろく屋根用（・縦型　・横型）	
◎ＶＬコニー用	目皿のみ取替え
・バルコニー中継用	

ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量

・規制対象外　・

既存のといその他の撤去及び陪雨等の対する養生方法　・　・

鋼管製といの防錆巻き　・改修標準仕様書3.8.5による　・

たてどい受金物の取付け　・図示　・

ルーフドレンの取付け

・水はけがよく、床面より下げ、周囲の陸間にモルタルを充填　・

3 防水改修工事

11 アルミニウム製笠木

[3.9.2]

種類　・オーブン形式（・200形　・300形　・350形　・100形）

・板材折曲げ形（本体幅　・　mm　板厚：・2.0mm　・　mm）

表面処理　種別（　）種　反射等の種類

（・標準仕様書表14.2.1による　・　）

着色（・アンバー　・ブロンズ　・ブラック系　・ステンカラー）

既存笠木等の撤去　・行う（範囲　・図示　）

・行わない

下地補修の工法　・図示　・

板材折曲げ形の笠木の取付け方法　・図示　・

笠木の固定金具の工法等

建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・適用する（建築基準法に基づき定める風圧力の（・1　・1.15　・1.3）の風圧力及び積雪荷重に対した工法）

・適用しない

4 外壁改修工事（共通事項）

① 施工数量調査

調査範囲　◎外壁改修範囲　・図示の範囲　[1.5.2、3]

調査内容

タイル貼り仕上げの場合

ひび割れ（幅0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上）の幅及び長さ、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

◯コンクリート打放し仕上げ、モルタル塗り仕上げの場合

ひび割れ（幅0.1～0.2mm未満、0.2～0.3mm未満、0.3～0.5mm未満、0.5～1.0mm未満、1.0mm以上）の幅及び長さ、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。

モルタル塗仕上げ及びタイル貼り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。

コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。

塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。

既存部分の破壊を行った場合の補修方法　・図示　・

調査報告書の部数　・2部　・

② 可とう性エポキシ樹脂

（品質・性能）　[4.2.2]

工事建築材料等品質性能表による

（試験方法）

工事建築材料等品質性能表による

③ パテ状エポキシ樹脂

（品質・性能）　[4.2.2]

工事建築材料等品質性能表による

（試験方法）

工事建築材料等品質性能表による

④ エポキシ樹脂モルタル

（品質・性能）　[4.2.2]

工事建築材料等品質性能表による

（試験方法）

工事建築材料等品質性能表による

⑤ ポリマーセメントスラリー

（性能）　[4.2.2]

工事建築材料等品質性能表による

⑥ ポリマーセメントモルタル

（品質・性能）　[4.2.2]

工事建築材料等品質性能表による

⑦ 既製調合モルタル

[4.2.2]

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

（品質・性能）

工事建築材料等品質性能表による

（試験方法）

工事建築材料等品質性能表による

4-① 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁改修

① ひび割れ部改修工法

[4.2.2] [4.3.4～6]

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	・200～300	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.3未満	・50～100	・40 ・
	0.3以上～1.0未満	・100～200	・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	・150～250	・130 ・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

コア抜取り検査　・行う

・行わない

抜取り個数　・長さ500mごと及びその端数につき1個　・

抜取り部の補修方法　・図示　・

・Uカットシール材充填工法

・シーリング材

充填材料　・1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・

ポリマーセメントモルタルの充填　・行う

・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

・パテ状エポキシ樹脂

◎可とう性エポキシ樹脂

[4.2.2] [4.3.7]

2 欠損部改修工法

・充填工法

・エポキシ樹脂モルタル

・ポリマーセメントモルタル

4-② 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁改修

1 既存モルタル塗りの撤去

・行う（・　全面　・図示の範囲）

2 ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法

[4.4.2] [4.4.5～7]

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	・200～300	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40 ・
	0.3以上～1.0未満	・100～200	・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	・150～250	・130 ・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

コア抜取り検査　・行う

・行わない

抜取り個数　・長さ500mごと及びその端数につき1個　・

抜取り部の補修方法　・図示　・

・Uカットシール材充填工法

・シーリング材

充填材料　・1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・

ポリマーセメントモルタルの充填　・行う

・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

・パテ状エポキシ樹脂

◎可とう性エポキシ樹脂

[4.2.2] [4.3.7]

・充填工法

・エポキシ樹脂モルタル

・ポリマーセメントモルタル

3 欠損部改修工法

[4.4.2] [4.4.8、9]

・充填工法

・エポキシ樹脂モルタル　◎ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法

既製目地材　・使用する（形状　　）

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　※図示　・

4 浮き部改修工法

[4.2.2] [4.4.10～15]

工法の種類（モルタルを撤去しない場合）	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数（本/㎡）		注入口の箇所数（箇所/㎡）		充填量 ml/箇所	注入量 ml/箇所
	一般部	指定部	一般部	指定部		
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・16 ・	・25 ・	—	—	・25 ・	—
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・13 ・	・20 ・	・12 ・	・20 ・	—	・25 ・
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・13 ・	・20 ・	・12 ・	・20 ・	—	・50 ・
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・9 ・	・16 ・	—		・25 ・	—
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・9 ・	・16 ・	・9 ・	・16 ・	・25 ・	—
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・9 ・	・16 ・	・9 ・	・16 ・	—	・50 ・
・充填工法	—	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	—

アンカーピン

・ステンレス製（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

・

注入口付アンカーピン

・ステンレス製（SUS304）呼び径外系6mm

・

充填工法

・エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法

既製目地材　・使用する（形状　　）

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置　・図示　・

4-③ 外壁改修工事 タイル貼り仕上げ外壁改修

1 既存タイル貼りの撤去

・外壁タイル貼り全面　・図示の範囲

撤去範囲　・下地モルタルまで　・貼付けモルタルまで　・タイルのみ

[4.2.2] [4.5.5、6]

2 ひび割れ部改修工法

改修箇所　・既存タイル貼り面

・既存タイル撤去面　（・コンクリート面　・モルタル面）

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	注入量（ml/m）
・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	・200～300	・130 ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100	・40 ・
	0.3以上～0.5未満	・100～200	・70 ・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	・150～250	・130 ・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

コア抜取り検査　・行う

・行わない

抜取り個数　・長さ500mごと及びその端数につき1個　・

抜取り部の補修方法　・図示　・

・Uカットシール材充填工法　（既存タイル貼り撤去面）

・シーリング材

充填材料　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系　・

ポリマーセメントモルタルの充填　・行う

・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

4-④ 外壁改修工事 タイル貼り仕上げ外壁改修

3 欠損部改修工法

・タイル部分貼替え工法

接着剤の種類

・ポリマーセメントモルタル

・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系

・タイル貼替え工法

接着剤の種類

・ポリマーセメントモルタル

・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　・改修標準仕様書表4.5.1による　・

タイル貼り下地等の均しモルタルの接着力試験　・行う　・行わない

・セメントモルタルによる陶磁器質タイル貼り

タイル貼りの工法

外装タイル　・密着貼り　・改良圧着貼り　・改良積上げ貼り

外装ユニットタイル　・マスク貼り　・モザイクタイル貼り

・有機系接着剤による陶磁器質タイル貼り

シーリング材の種類

打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　・ポリウレタン系　・

伸縮調整目地その他の目地　・変成シリコーン系　・

4 浮き部改修工法

[4.2.2] [4.5.9～15]

工法の種類（タイルを撤去しない場合）	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝの本数（本/㎡）		注入口の箇所数（箇所/㎡）		充填量 ml/箇所	注入量 ml/箇所
	一般部	指定部	一般部	指定部		
・アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・16 ・	・25 ・	—	—	・25 ・	—
・アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・13 ・	・20 ・	・12 ・	・20 ・	—	・25 ・
・アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・13 ・	・20 ・	・12 ・	・20 ・	—	・50 ・
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・9 ・	・16 ・	—		・25 ・	—
・注入口付アンカーピニング全面エポキシ樹脂注入工法	・9 ・	・16 ・	・9 ・	・16 ・	・25 ・	—
・注入口付アンカーピニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・9 ・	・16 ・	・9 ・	・16 ・	—	・50 ・
・注入口付アンカーピニング部分エポキシ樹脂注入工法	・	・	・	・	・25 ・	—
・タイル部分貼替え工法	—	—	—	—	—	—
・タイル貼替え工法	—	—	—	—	—	—

アンカーピン

・ステンレス製（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

・

注入口付アンカーピン

・ステンレス製（SUS304）呼び径外系6mm

・

・タイル部分貼替え工法

接着剤の種類

・ポリマーセメントモルタル

・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系

・タイル貼替え工法

接着剤の種類

・ポリマーセメントモルタル

・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・JIS A 5557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置　・改修標準仕様書表4.5.1による　・

タイル貼り下地等の均しモルタルの接着力試験　・行う　・行わない

・セメントモルタルによる陶磁器質タイル貼り

タイル貼りの工法

外装タイル　・密着貼り　・改良圧着貼り　・改良積上げ貼り

外装ユニットタイル　・マスク貼り　・モザイクタイル貼り

・有機系接着剤による陶磁器質タイル貼り

シーリング材の種類

打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　・ポリウレタン系　・

伸縮調整目地その他の目地　・変成シリコーン系　・

5 目地改修工法

[4.5.16]

・目地ひび割れ部改修工法

・伸縮調整目地改修工法

伸縮調整目地の位置及びす法　・図示　・

6 タイルの形状、寸法等

[4.2.2]

主な用途による区分 施工箇所	形状寸法（mm）	吸水率による区分 Ⅰ類	吸水率による区分 Ⅱ類	吸水率による区分 Ⅲ類	うわぐすり 無ゆう	うわぐすり 施ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	再生材の適用 図	耐凍害性 有	耐凍害性 無	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験貼り　・行う　・行わない

見本焼き　・行う　・行わない

工事名称

市営住宅山田住宅長寿命化型改善 工事設計図

特記仕様書2

設計

訂正

担当

意匠	構造	設備

一級建築士　登録　169665 号

向　井　照　雄

向 井 照 雄 建 築 事 務 所

三重県志摩市磯部町迫間 409-3　　電話 0599-55-0157

図面番号

A — 2